

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-1-1		事業名	協働による冬期歩行環境の改善			
担当	建設局管理部雪対策室計画課 田村 211-2682						
全体計画							
事業内容	冬期の横断歩道や歩道では、つるつる路面によって毎年多くの人が転倒し救急搬送されている。このため、市民・企業・行政が協働により歩行環境の改善を図り、安全で快適な冬みちを目指すものである。			<年度別の事業内容>			
				平成19～22年度 (1)企業名入り砂箱の設置 (2)砂まき活動の実施 (3)自発的な砂まき活動の推進			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	(1)企業名入り砂箱の設置 事業内容:歩行者用砂箱の設置強化のため、民間協力による砂箱を設置 設置数:24基 (2)砂まきキャンペーンの実施 事業内容:市民に対して砂まきの協力を広く呼びかけるため、街頭啓発を実施するとともに、公共施設などに砂入りペットボトルを配置 【街頭啓発】 場所:都心部、各区主要地点 【砂入りペットボトル】 配置数:約15,000本 場所:区役所、各区土木センターなど (3)自発的な砂まき活動の推進 人通りの多い道路(場所)で営業するコンビニや商店街で砂まきを行うことで、市民の砂まき活動の啓発につながるから協力を依頼 【コンビニ】 協力数:750店舗 【商店街】 協力数:18商店街			(1)企業名入り砂箱の設置 事業内容:歩行者用砂箱の設置強化のため、民間協力による砂箱を設置 設置数:17基 (2)砂まき活動の実施 事業内容:市民に対して砂まきの協力を広く呼びかけるとともに、公共施設などに砂入りペットボトルを配置 【街頭啓発】 場所:都心部、各区主要地点 【砂入りペットボトル】 配置数:約20,000本 場所:区役所、各区土木センターなど (3)自発的な砂まき活動の推進 人通りの多い道路(場所)で営業するコンビニや商店街で砂まきを行うことで、市民の砂まき活動の啓発につながるから協力を依頼 【コンビニ】 協力数:750店舗以上 【商店街】 協力数:18商店街以上			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
市民による砂まきの割合の増加		57%	56%	60%	65%	70%	70%
企業名入り砂箱の設置数		79基	103基	120基	140基	160基	160基
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 【資金協力】 【人材協力】 【情報協力】 【その他の協力】 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-1-1		事業名	協働による冬期歩行環境の改善		
評価(成果)			課題			
<p>昨冬の転倒による救急搬送者数は606人で、平成16年度に1,009人を記録してから近年で最も少なかった。これは平年と比べ降雪も少なく、全体的に滑りやすい路面状況の発生が少なかったことが要因の一つと考えられるが、少なからず、転倒事故を予防する方策として、各種の啓発活動を行ったことや、砂まきの取り組みが徐々に浸透してきていることも救急搬送件数の減少に結びついていると考えられる。</p> <p>転倒による救急搬送件数:606人</p>			<p>冬期の歩行環境の改善については、市民要望も高く重要な課題の一つとなっている。しかし、つるつる路面は瞬時に、かつ広範囲に発生することから、行政だけでは対応ができず、市民や企業による砂まきの協力がなにより必要となっている。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>冬期の歩行環境の改善のためには、市民・企業・行政の3者が一体となって取り組むことが必要であることから、市民へのPRを強化しつつ、引き続き砂まきなどの取り組みを実施する。</p> <p>また、砂袋に比べ持ち運びに便利な砂入りペットボトルの需要も増加傾向にあるため、配置場所を拡大する。</p> <p>さらに、企業名入り砂箱の設置数の強化策として、管理基準の見直しなど、企業・団体が購入しやすい環境づくりの検討を行う。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債 その他 一般財源					
予算	事業費	2,300	2,300	-	-	4,600
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債 その他 一般財源	0 0 2,300	0 0 2,300			0 0 4,600
実績	事業費	2,460	-	-	-	2,460
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債 その他 一般財源	0 0 2,460				0 0 2,460
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						